

学部・講師	テーマ 講座内容
人文学部  酒井 恵子 先生	<p style="text-align: center;"><b>『科挙 —エリート官僚への道—』</b></p> <p>前近代中国で千年以上続いた『科挙』は、エリート官僚を選抜する超難関試験です。この科挙が人々の生活に与えた影響，社会の変化についてご講義いただきました。</p> 
教育学部  中西 良文 先生	<p style="text-align: center;"><b>『学びを高める心理学』</b></p> <p>文系の生徒と将来教職などを志したい生徒を対象に，大学での研究活動やご自身の研究テーマを簡単な実験を交えながらやさしく講義していただきました。</p> 
医学部 医学科  谷崎隆太郎 先生	<p style="text-align: center;"><b>『医療の最前線で何が起きているか，君に何ができるのか』</b></p> <p>世界一の超高齢社会が到来している日本。医療の最前線で奮闘する現役の総合診療医から医療の今と未来について，すべての高校生たちに知っておいて欲しいことを，熱く語っていただきました。</p> 

### 『認知症の人の心を感じてみよう』

超高齢社会になり、認知症の方と接する機会も増えていきます。認知症の方の心を感じてみて、援助する側にとって必要なことは何か話し合いました。

また、「看護学を学んで看護師になるには」について生徒の疑問に答えていく形で紹介していただきました。

医学部  
看護学科

北川亜希子  
先生



### 『未来の炭素素材・ナノカーボンの挑戦』

炭素というと木炭や墨など、ありふれた『真っ黒な煤』を思い浮かべるかもしれない。しかし、炭素は脱臭剤や電池の電極、ラケットそして飛行機まで、すべて私たちの身の回りでは重要な素材として広く用いられている。さらにフラーレンやカーボンナノチューブ、グラフェンなどの『ナノカーボン』は新しい素材として、たいへん注目されている。『古いけど新しい』この炭素材料の世界を、基礎から最先端の研究までを織りまぜながらご講義いただきました。

工学部

小塩 明  
先生



### 『ウイルス感染の仕組み』

私たちの健康を脅かすウイルスは、遺伝子を持っていても自分の力で増えることができません。そこで、生物の生きた細胞に感染して細胞を乗っ取り、細胞を蝕みながら増殖するやっかいな性質を持っています。2009年には、世界的に新型インフルエンザが流行し、それ以降すっかり新型ウイルスが取って代わりました。「旧型のウイルスと何処がどう違っていたのでしょうか。そして、インフルエンザ治療薬として重要なタミフル・リレンザとは、どんな薬なのでしょうか。どういう仕組みで効くのでしょうか。」などと、生徒に投げかけながら科学的な視点で解説されました。

生物資源  
学部

稲垣 穰  
先生

